



校長通信

令和4年度 6号 令和4年6月14日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《少年メッセージ2022にて、本校生徒が大健闘！》

6月11日（土）和歌山市あいあいセンターにて、少年メッセージ2022が開催され、本校2年の生徒が出場しました。この大会は、中学生に、どのように生きようとしているのか等について、意見発表する機会を提供し、郷土の未来を担う若い世代の育成を目指しているそうです。



当日は、和歌山市内1485点の応募の中から書類選考で選ばれた14人（実際は15人選ばれたが、1人欠席）が、メッセージを発信しました。書類選考通過率は、なんと約100倍と、この大会に出場するだけでもすごいことです。参加した中学生は、環境問題や人権問題、自分自身の困難から克服した経験、ふるさとの事など、様々な話題について、自分の考えをしっかりと堂々と発表していました。その内容から、私も多くのことを学ばせていただきました。

本校の生徒は、環境問題で、マイクロプラスチックの危険性、その危険性を少しでも回避するため、プラスチックを使用しない工夫を紹介していました。原稿をしっかりと覚え、落ち着いて、聴衆の方々一人一人に語りかけるよう発表していました。

優秀賞の2名が、夏休みに開催される県大会に出場するのですが、本校の生徒は、奨励賞に選ばれました。優秀賞にも引けをとらない、すばらしい奨励賞だと思います。大会に参加した14人の生徒全員、立派な発表でした。お疲れさまでした。

《携帯電話に関するアンケート結果について》

4月、少年センターに情報モラル講座を実施していただいた際、携帯電話に関するアンケートを全校生徒に実施しました。集計結果が、少年センターから届きましたので報告します。携帯電話所持率は、1年生で88%、2年生で95%、3年生で97%で、そのうちスマートフォンの割合は、1年生94%、2年生95%、3年生98%でした。3年生は、ほぼ全員スマホを所持していると言っても過言ではないでしょう。

気になるのが、その使用時間です。1年生の62%、2年生の74%、3年生の77%が、1日に3時間以上携帯を使用していると回答しています。スマホの使い過ぎが、目に過度の負担を与えたり、姿勢が悪くなり、頭痛、肩こり、首の痛み、めまい等を起こしたり、睡眠障害を招いたりするようです。子供たちが元気に学校生活を送れるよう、各ご家庭で、使用時間も含め、ルールや約束事を決めて取り組んでいただくよう、切にお願いします。

